リベンジV 新座ガールズ

練習試合で大敗した相手倒す

NPBガールズトーナメント2023全日本女子学童軟式野球県予選

4年ぶり2度目

NPBガールズトーナメント2023全日本女子学童軟式野球県予選が6月10～17日、加須きずなスタジアムで行われた。決勝では新座ガールズが11－7でさくらそう浦和ガールズを下し、4年ぶり2度目の優勝を飾った。

常に先手を奪いながらも相手の粘りで同点に追いつかれた5回表、新座ガールズ打線が爆発した。一死後、6番古川みずほ（6年）の右翼線二塁打からの3連打などで2点。さらに2番細川ひかり（6年）の左前適時打、3番景山紗衣（6年）の左中間二塁打などこの回打者12人で一挙6点を奪った。景山は「みんなでつないで点が取れたことがうれしい」と、満面の笑みで振り返った。

大会直前の練習試合では、さくらそう浦和ガールズに1－20と大敗を喫した。「守備が乱れたのでもう一度、やり直した」（岩本莱愛主将、6年）と引き締め直した。「家でも羽根打ちをした」（細川）など個々の意識も高まったことが、リベンジしての優勝につながった。

4年前の全国では初戦（2回戦）敗退に終わった。この日、10安打15盗塁と積極性を見せたナインに、高橋康浩監督（62）は「基本は守り勝つチーム。今年は足もあるし、最低でも1勝はしたい」と期待するが、選手たちの目標はさらに上。岩本主将は「日本一を狙います」と力強く言い切った。

5回表に打者12人で一挙6点

2回表2死三塁で3番景山が右中間二塁打を放ち5点目

新座ガールズ選手名　学年
岩本　莱愛⑥
岩谷　杏珠⑥
古川みずほ⑥
宮﨑　まう⑥
細川ひかり⑥
景山　紗衣⑥
木原　鈴音⑤
増子　海咲⑤
今井　夏美⑤
山根　彩楓⑤
鈴木　夢来⑤
齋藤　朱希⑤
遠峰　彩愛⑤
齋藤　葉月⑤
稲垣　杏樹⑤
岩本　紗菜④
山崎　英菜④
竹内ひなた④
宮崎　星絆④
下山　姫乃④
古川ひかり④
宮本　蘭④
鈴木　夢芽④

4年ぶり2回目の全国出場を決めた新座ガールズ

▽決勝
新座ガールズ　320　06　11
さくらそう浦和ガールズ　200　32　7
（新）景山、岩本莱、増子、岩本莱、増子、岩本莱（さ）出田、小関、古内、丸山―丸山、中嶋
二塁打　細川（新）、丸山2（さ）、景山2、古川み（新）、佐藤（さ）

小林 積極的な柔道で連覇

男子6年生50㌔超級

県小学生学年別柔道大会

第54回埼玉県小学生学年別柔道大会（後援・読売新聞さいたま支局ほか）が6月18日、県立武道館で行われた。男子6年生50㌔超級では、小林弘人（川口市柔道連盟クラブ）が昨年の5年生の部に続く〝2連覇〟を達成した。

【男子】
▽6年生50㌔超級決勝
小林　弘人（川口市柔道連盟クラブ）　判定勝ち　鈴木　勝太郎（川口市柔道連盟クラブ）

昨年の5年の部に続く連覇を達成した小林

決勝は同門対決で苦戦

決勝では同じクラブの鈴木勝太郎と対戦。互いに手の内を知り尽くしているだけに、「技をかけるのが遅くなってしまって、抑え込まれそうになった」（小林）と苦戦しながらも、積極的に前に出る柔道で判定勝ちを収めた。「去年は全部1本勝ちだったので」とやや不満そうな表情を浮かべた小林だが、初戦は大外刈り、準決勝は払い腰と「磨いてきた」という練習の成果は披露した。

中学受験を控え、現在は「毎日3～4時間」を勉強に費やしながら県王座は譲らなかった。ただ、中学では「野球部に入りたい」。WBCで優勝した侍ジャパンの活躍に感動し「野球の経験はないけど、やりたくなった」と真顔で話した。野球に専念する柔道との二刀流にするかなどまだ正式に決めたわけではないが、努力の仕方を知っている小林なら、どんな選択でもやり切れるはずだ。

女子6年生45㌔超級
籾山うれしい初優勝

女子6年生45㌔超級では、籾山杏奈（志道館寺沢道場）が初優勝を飾った。この大会では昨年8強止まりで、県の頂点は1、2年時のスポ少大会以来となっただけに「久々の優勝だから本当にうれしい」と笑顔をはじけさせた。

週2の練習以外にも、小学生の時に全国出場経験のある姉にアドバイスをうけるなど、地道に力を蓄えてきた。この日は準決勝を優勢、決勝を判定での勝利と僅差での優勝だったが「相手も強いので。でも練習の成果は出せた」とうなずいた。

夢は「五輪チャンピオンになって人の記憶に残る選手」。そして「それに向かっていっぱい努力する」と付け加えた籾山の将来が今から楽しみだ。

【女子】
▽6年生45㌔超級決勝
籾山　杏奈（志道館寺沢道場）　判定勝ち　直塚実桜乃（春岡柔道クラブ）

女子6年生45㌔超級を制した籾山

記録のページ

◇令和5年度埼玉県小学生ハンドボール大会（6月11、25日、開智望小大体育館）

▽男子決勝
さいたま市ハンドボールクラブ　13―10　川口ハンドボールクラブ
▽女子決勝
美園Jr.ハンドボールクラブ　19―12　三郷ハンドボールクラブ

口福実感！青竹打ち麺
お取り寄せ 佐野ラーメン
青竹打ち 佐野45秒生ラーメン
純米吟醸 石臼挽き 蕎麦 麺一膳

青竹打ち麺はつるり印 茹で時間わずか45秒

「青竹打ちラーメン」とは、太い青竹の「弾力」と「テコ」の応用で麺を延ばす製麺法で、中国広東省より伝来しました。麺の中に気泡（空気）が多く残るため、火の通りが早く45秒茹で上がります。気泡がクッションになり麺の表面は柔らかく、芯は固さのある美味しいラーメンです。空気が美味しさを作るのは「寿司」「おにぎり」「厚焼き卵」と同じです。

テレビで紹介された名水でつくったラーメン

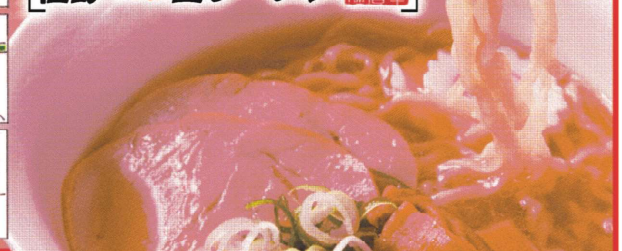
つるり佐野ラーメンは全て「青竹打ち」製法。水分が多いほど麺は美味しくなるもの。機械では水分の多い麺を製麺することはできず、「青竹打ち」だからこそ、50％近くの水分が入った麺を打ちながら延ばすことができ、水の分子と粉の粒子とが密接に結合したコシの強い美味しい麺が作れるのです。

鋭い切れ味の包丁で切ることで麺の角がピンと立ち、舌触りの良い麺になります。さらにその麺を手揉みで縮らせ、縮れ麺を作ります。自家製青竹打ち生麺と、最後の一滴まで飲みたくなるスープが一体となった美味しいラーメンです。どうぞ是非ご試食ください。謝謝。

クール便使用

WEB注文はこちら

送料・手数料込み価格
4食セット（麺4玉・醤油スープ付）　2,100円（税込）
お得な8食セット（麺8玉・醤油スープ付）　3,500円（税込）



0120-014-261（イシ―ゴ―イチ）
【受付時間：9時～18時（日・祝休み）】
メール：info@sanoramen.com
【申込番号　さいたま報知0723俵】
※広告有効期限：7月31日（月）まで

●お届け/ご注文より4日以内に発送●お支払い/代金引換のみ（手数料無料負担）●返品・交換/商品の性質上お客様都合による返品・キャンセルはできかねます。万一ご注文と異なる商品や不良品の場合は、商品到着後7日以内に弊社までご連絡の上、送料着払いにて返品ください。その後に良品をお送りいたします。【個人情報について】個人情報は、弊社からの注文確認や商品のご案内等の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはございません。

口福実感！ また食べたくなるラーメン
佐野ラーメン本舗
〒327-0022 栃木県佐野市高砂町2863
http://www.sanoramen.com/index.html

★テレビで紹介されました！★
「名水百選」の水で製造した本物の佐野ラーメン
※写真は調理イメージです